

経営改革に係る取組み等について

団体名 (社福) 松山市社会福祉協議会

平成27年3月31日現在

1. サービス向上に向けた取組み(主なもの)

(単位:千円)

取組目標	①相談支援機能の充実 ②ボランティアの養成及び活動への強化 ③広報啓発活動の推進 ④組織体制の見直し	
具体的な取組内容等	①聴覚障がい者への一層の支援を目的として手話生活相談事業や意思疎通支援事業等を社会福祉事業団から移管し、障がい者総合相談窓口事業と合わせ障がい者への相談支援体制の充実を図るとともに、ボランティアセンターとの連携により手話通訳や要約筆記などのボランティアの育成体制の整備を図った。 ②ボランティア活動への参加促進や活動者の拡大を図るため、災害ボランティアや傾聴ボランティア等の養成及び情報紙や携帯電話を活用した情報提供に取り組むとともに、市内で発生する床上床下浸水等の小規模災害に迅速に対応できるボランティアの育成確保に努めたほか、聖カタリナ大学との間で災害ボランティア協定を締結する等、活動体制の整備に努めた。 ③リーフレットや生活情報紙による広報啓発に加え、民間企業等との新たな連携によるイベント(わかくさファミリーまつり、福祉サポートフェスタ、耳の日のつどい等)や賛助会員等の車両を活用した広報活動を積極的に展開し、市民への福祉情報の提供や福祉活動・市社協事業への理解促進を図った。 ④地域福祉活動の一層の推進を目的として関係機関団体等との連携や対外的交渉力の強化等、組織力の向上や地域住民からの理解促進を図るため、部制の導入や職員の補職名変更等、組織体制の刷新を図った。	効果額 (※表せる場合のみ) 【参考】 ボランティア登録数 個人 団体 H25 2,006 470 H26 2,146 477

2. 経費縮減に向けた取組み(主なもの)

(単位:千円)

取組目標	①正規職員退職時の嘱託職員対応による人件費の縮減 ②総合福祉センター光熱費の抑制	区分 ■ 人件費 ■ その他経費
具体的な取組内容等	①正規職員3名退職時に、当該職員の再雇用を優先し、人件費の縮減に努めた。 ②電気料金の上昇に伴う電気代の増額を抑制するため、電灯のLED化に継続して取り組んだ。 ※【実績額】 ①25年度: 16,026千円、 26年度: 8,060千円 (7,966千円の削減) ②25年度: 21,180千円、 26年度: 21,691千円 (511千円の増額) (1,059,245KW) (965,285KW) (93,960KWの削減)	実績額(概算) 前年度比較 ①7,966千円の削減 ②511千円の増額 (93,960KWの削減)

3. 収入財源確保に向けた取組み(主なもの)

(単位:千円)

取組目標	①社協会員への加入促進 ②寄付金の確保 ③事業収入の確保	
具体的な取組内容等	①会員確保のためバナー広告やリンク設定を行なう中、新たな取り組みとして賛助会員(企業等)の周知手段として車両用マグネット広報看板を導入するとともに、職員一人ひとりが会員の勧誘に努め、各種福祉事業に活用するための財源確保に努めた。 ②ホームページや市広報紙を通じて広く市民に寄付者の周知(希望者のみ)を図るとともに、お礼とあわせ寄付者に寄付金充当事業の報告を行なうこと等によりまごころ銀行の啓発を図った。 ③本会事業の実施にあたっては、受益者負担を原則とし過重負担にならない範囲で利用者等から利用料や参加費収入を、また団体等から施設利用に対する管理費収入や広告収入を徴収する等、円滑な事業推進のための財源確保に努めた。対象事業22件(H25年度23件) ※【実績額】 ①25年度: 4,684千円、 26年度: 5,789千円 (当初目標額: 5,800千円) ②25年度: 4,644千円、 26年度: 9,555千円 (当初目標額: 5,600千円) ③25年度: 15,338千円、 26年度: 14,049千円 (当初目標額: 16,476千円)	実績額(概算) 26年度実績額 ①社協会費 5,789千円 ②寄付金(まごころ銀行) 9,555千円 ③事業収入 14,049千円

4. 団体の自己評価

事業・経営評価	目的の達成状況		評価根拠
	<input type="checkbox"/>	達成できた	
	<input checked="" type="checkbox"/>	概ね達成できた	
	<input type="checkbox"/>	達成できていない部分がある	
	<input type="checkbox"/>	達成できなかった	1. サービス向上に向けた取組み 地区社協や地区民協等の要望に基づく事業計画を踏まえて事業を展開し、概ね目標を達成するとともに、小規模災害に備えた活動体制の整備や民間企業等との連携によるイベント等を新たに追加するなど柔軟な事業運営を図った。 2. 経費縮減に向けた取組み 目標どおり人件費の縮減に取り組む中で、予算の範囲内で総合福祉センターの維持管理経費の抑制を図った。 3. 収入財源確保に向けた取組み 実績額欄に記載のとおり、寄付金ではまごころ銀行に大口寄付があり当初目標額を上回る実績を上げることができた。その他は、当初目標額に近い実績を達成している。